

文芸とうかい

〔俳句〕

足早にすぎて振り向く藪椿

東海 佐藤 とよ

湯けむりや瀬音ききいる雪見風呂

豊白 中島エミ子

わびすけや白一面の出で湯宿

外宿 西山 純一

こんなにも沢庵漬けて逝きたもふ

村松 松本 正勝

うなずいてうなずいて雛流れけり

南台 渋谷ひろし

子鳩達落葉の中に親待ちぬ

白方中央 根本 武

草刈の鎌をのがれて母子草

舟石川 舛井 愛子

花筵起伏に膝を立て直す

白方中央 柴田 一声

娘は嫁して雛の仕舞いは遅れがち

村松北 小野寺紀夫

〔短歌〕

冬ざれの畑にしばしば小鳥きてついでむさまに生きるをみたり

内宿 村上 文江

時おりに寒気流るる早春の庭の白梅二分咲きなり

船場 舛井庫之助

畑掘れば冬眠蛙出でて来る土まみれ目で吾を睨め

南台 根本内俊男

春びより借楽園の梅まつり気持早るも一分咲きかな

照沼 佐藤 昇

亡母が遺してくれし袷天を背に羽織りて温くなつかし

外宿 小林美代子

野球帽深々かぶりあふれ落つ感動の涙隠しぬ孫

須和間 柴山 靖子

盛り咲く水盤の梅指に触れる今日雪よと患者さん

舟石川 工藤和一郎

春の日の明るくさせる窓の辺に気の向くままに

外宿 高槌 すみ

一日読書す

雨晴れし野に草花の生き生きと道行くわれの心のはずむ

緑ヶ丘 佐藤 正

高校の合格知らせる孫娘電話の向こうに弾む声き

村松 高橋 正弘

庭先に太々と生う繭の木の根方にくつか路の臺

舟石川 小川志つ江

暖かき冬の日和の吹く風に海鳴りの音間近にきこゆ

〔川柳〕

甘いけど臭い匂いのガソリン税

白方中央 関口 満

村松 桜井 秀子

STATION GALLERY

■開館時間 午前10時～午後7時(第2回照沼章写真展)のみ午後6時まで ※各展示の最終日の閉館時間は、4月26日が午後1時、5月3日が正午、5月10日が午後2時となります。

■場 所 JR東海駅(駅舎2階)

■問 合 せ 東海ステーションギャラリー(☎287-3680)

芸大・茨大・筑波大卒業修了選抜展 4月13日(日)～4月26日(土)

県内にある大学の卒業修了制作から、日本画・洋画・彫刻などの大作10点を展示します。学生生活の集大成として制作された、若手作家の豊かな感性と表現をご覧ください。



※昨年度の展示会場

第2回 照沼章写真展 ～奥久慈「西ノ内紙」今に伝える～ 4月27日(日)～5月3日(土)

「西ノ内紙」は奥久慈で栽培された楮を原料とした和紙で、水戸藩から専売品として奨励され、「大日本史」編纂用紙としても使用されました。その和紙を作る手作業に感動してカメラに収めた照沼章さん(村内在住)による写真個展です。



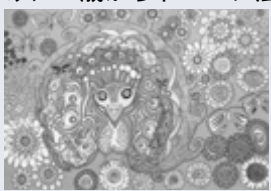
第5回 写団合同展 5月4日(日)～5月10日(土)

ひたちなか市在住の写真同好会グループ「柏野写楽会」「津田写真クラブ」「フォト佐野」の3団体が一体となり、各自の感性を生かした幅広い作品の展示発表会を行います。ぜひご覧ください。



島田和作品展

ミュージック・ケア(音楽療法)を2歳から受け、8歳からドーマン法のリハビリを始めたことで、絵の才能を開花させた「広汎性発達障害(自閉症)」の島田和さん(13歳)が描いた絵を展示します。ぜひご覧ください。



■期 日 4月13日(日)～6月1日(日)

■時 間 午前9時～午後4時

■場 所 原子力科学館

■入 場 料 無料

■問 合 せ 社団法人茨城原子力協議会(☎282-3111)